

## J &amp; T 環境株式会社 火災事故について

## I 経緯

- (1) 発生日時: 令和4年1月22日(土) 16時20分
- (2) 発生場所: 東京都江東区海の森二丁目3番21号  
J & T 環境株式会社 東京臨海エコクリーン  
産業廃棄物焼却炉A系給じん装置内
- (3) 発生状況  
産業廃棄物焼却設備(裏面参照)の運転中において、廃熱ボイラ内の水管に穴が開き、ガス化炉等の炉内圧力が一時的に上昇し、給じん装置部内で火災が発生した。
- (4) 被害状況  
人的被害なし、施設に大きな損傷なし
- (5) 消火対応
- |        |   |
|--------|---|
| 16時20分 | 給じん装置内監視カメラに火炎を確認<br>現場に出向き目視にて確認。直ちに自衛消防の準備(消火ホースの展張等) |
| 16時29分 | 公設消防へ通報<br>自衛消防隊により消火活動を開始(給じん装置内部に注水を開始)               |
| 17時07分 | 公設消防による消火活動開始   |
| 20時10分 | 鎮火確認  |

## II 発生原因

- 廃熱ボイラ内の水管に開いたピンホール(2か所)から圧力水が漏れ水蒸気となり、隣接する水管に直接当たり続けたことにより、水管が減肉され大きな破孔が発生した。(別紙参照)
- 大きな破孔から漏れた多量の圧力水が水蒸気となり炉内に充満し、炉内圧力が上昇した。このため炉内圧力を負圧にするための誘引通風機が過負荷となり一時停止。
- 炉内圧がさらに上昇して正圧となり、高温の可燃性ガスがガス化炉を經由して給じん装置内部へ流入し、内部のゴミに着火した。

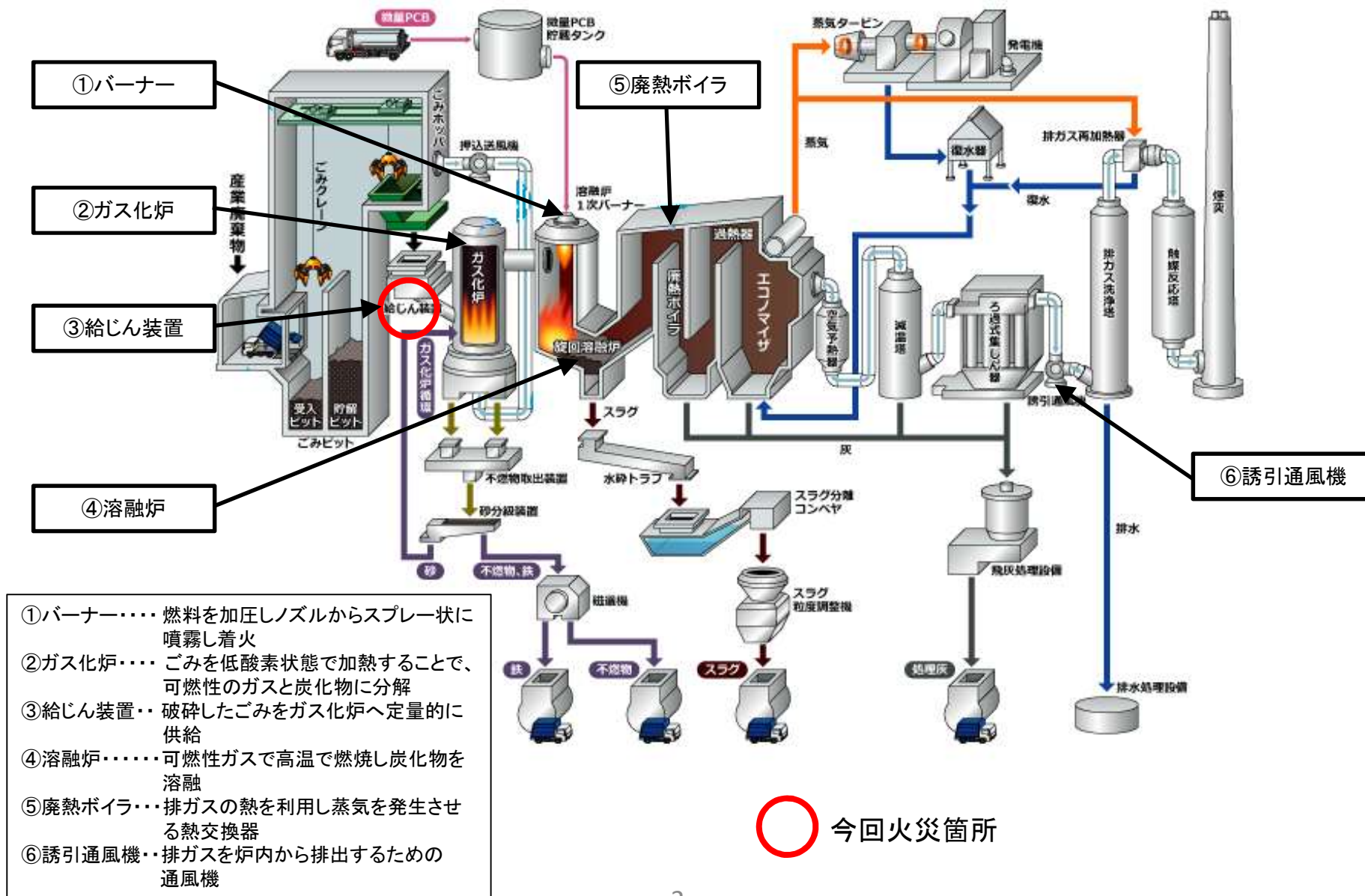
## III 再発防止策

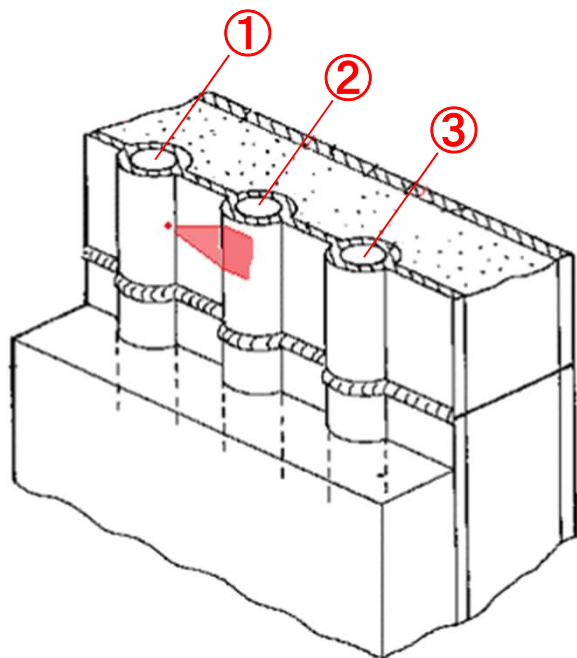
- (1) 廃熱ボイラの計画的改修
  - ・耐摩耗性、高温耐蝕性に優れた材質の水管に交換する。
- (2) 廃熱ボイラ内の監視強化
  - ・小さな予兆を迅速に発見するため管理値を見直す。
- (3) 消火機能の増強
  - ・給じん装置の散水設備を増やし、遠方操作ができるよう機能を強化する。

## IV 都の対応

- 最終報告の再発防止策の妥当性を確認するとともに、産廃施設の安全管理徹底のため、必要な指導を行った。
- 今後は、再発防止策の実施状況の報告徴収及び立入検査により、施設の安全性を確認していく。

# 産業廃棄物焼却設備(ガス化溶融炉)処理フロー





水管壁(イメージ)

漏洩部詳細写真

